



議会だより

しらたか

3月定例会
山形県白鷹町議会

Vol.166

2025年4月15日発行
(令和7年)



元気いっぱい夢いっぱい

白鷹中学校入学式

12ページに関連記事

一歩進んだ取り組みを	令和7年度の主な事業	2p
令和7年度予算審査		4p
ここが聞きたい	一般質問で町政を問う	14p
VOICE	議会だよりアンケートの結果	19p
輝く地域の力	「白鷹を盛り上げよう実行委員会」	20p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



UD
白鷹町議会

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

定例会の概要

期 間 ●3月4日から14日（11日間）

各種会議 ●本会議 ●予算特別委員会 ●総務厚生常任委員会
●産業建設常任委員会 ●議会運営委員会 ●議会広報特別委員会 他

審 議 ●7年度当初予算（8件） ●補正予算（8件） ●条例案件（6件）
●人事案件（2件） ●財産の取得（1件） ●道路案件（1件）
●名誉町民（1件） ●請願審査（1件） ●発議（2件）
※全て原案のとおり可決

一般質問 ●横山和浩議員【荒砥高校支援の成果をどう捉えているか】
●竹田雅彦議員【白鷹町に住み続けていただける取り組みについて】

3.「地域力」安全に暮らせる地域づくりへ

◆消防団を支える地域の負担を軽減する。
2550万円

◆国道348号の再整備に向けた構想案を策定する。
1100万円

◆水道管の老朽対策や耐震化、道路工事に伴う管路の
布設替え工事などを行う。 1億7721万円

◆健康福祉センターを改修し、多世代交流型子育て支援に
向けた機能の充実をはかる。 3964万2千円



頼りにしています！消防団

4.「定住化」移住・定住の拡大へ

◆長井市、飯豊町と連携し、首都圏の学生等に対し体
験プログラムやイベントなどを実施する。
430万円

◆新たに移住の調整役を配置し、移住相談や情報発信、
支援交付金などにより、移住・定住の促進を強化する。
1105万3千円

◆空き家の実態調査や、解体に対する補助金を増額する
など、空き家対策を強化する。 976万1千円



考えよう、この町の良いところ

新年度予算可決

魅力あるしらたかに 一歩進んだ取り組みを

主な新規・拡充事業

1. 「人づくり」 子育て、教育環境の充実へ

- ◆子育て支援・健康アプリを活用して、子育てしやすい環境づくりや健康増進などを進める。

1607万8千円

- ◆乳幼児健診の対象に5歳児を追加し、保健師による家庭訪問で子育てを支援する。

409万8千円

- ◆町内全小学校の和式トイレを洋式に改修するなど。

1億1528万2千円

- ◆部活動地域移行に向けた取り組み。

397万円



すくすく育てね！

2. 「産業・経済」 農業再生と新たな観光創出へ

- ◆6次産業化推進拠点施設を整備する。

3621万円

- ◆農地利用を進めるため、生産の効率化に取り組む団体の機械や施設の導入を支援する。

2400万円

- ◆有害鳥獣対策を強化する。

600万円

- ◆体験型観光による心身の健康回復事業を、新たに町の観光に取り入れる。

2014万7千円



守ります、この農地

令和7年度 当初予算

一般会計99億4000万円
(前年度比7.2%増)

総額 170億1315万円
(前年度比9.5%増)

新年度当初予算額			
会計項目	予算額		
一般会計	99億4000万円		
特別会計	十王財産区	91万円	
	国民健康保険	13億6770万円	
	介護保険	16億9580万円	
	後期高齢者医療	2億795万円	
事業会計	水道	収益的支出	2億8790万円
		資本的支出	3億9691万円
	下水道	収益的支出	6億1237万円
		資本的支出	3億7732万円
	病院	収益的支出	12億6195万円
		資本的支出	8億6434万円
合計	170億1315万円		

※万円未満は端数調整

総括質疑

― 施政の方針を問う ―

菅原 俊一 議員

6次産業化推進の課題

問 生産者に寄り添いアドバイスできる、コーデイナー的な人材の人選などの見通しを伺う。

町長 専門知識を持つ人がいるかという点と難しい。販売まで精通している人もいない。その中で、実際に本町で手がけてきた方々の経験や知恵を借りて対応していく。

問 地域の理解と合わせ、広く利用されるためのPRをどうするのか。

町長 仙台白鷹会や首都圏白鷹会をはじめとした縁のある団体にモニターの協力をいただくなど、いろいろな機会をいただきながら取り組んでいきたい。



有害鳥獣処理施設整備

問 これまでの検討状況は。

町長 候補地として猟友会の方々と検討し、交通の要衝にと考えたが地域から理解が得られなかった。その後、数カ所絞り込み検討している。

問 地域住民との合意は不可欠。理解と協力を得る方策は。

町長 情報を全て明らかにする。福島県飯館村の施設を参考に、焼却などではなくチップを使って溶解させ、有機肥料に転換できるような施設にする。迷惑施設では絶対ないと理解いただく取り組みを行っていく。

金田 悟 議員

教育の充実の先に見える人口増

問 小中学校教育現場の抱えている課題と解決策は。

町長 当町の出生率は厳しい状態にきている。将来、教育の問題を含め非常に心配である。教育と人材育成を最大の目標にしており、教育環境を整備していく。



進化する教育環境（タブレット授業）

町民の安全安心のために

問 町民の安全を確保していくための防災対策、特に消防団員確保対策は。

町長 行政だけではだめで、消防団員の声かけと併せ、地域の方々と共に、より安心な地域をつくっていくことも大切。

問 将来にわたる防火水槽、消火栓等の消防施設整備の考え方は。

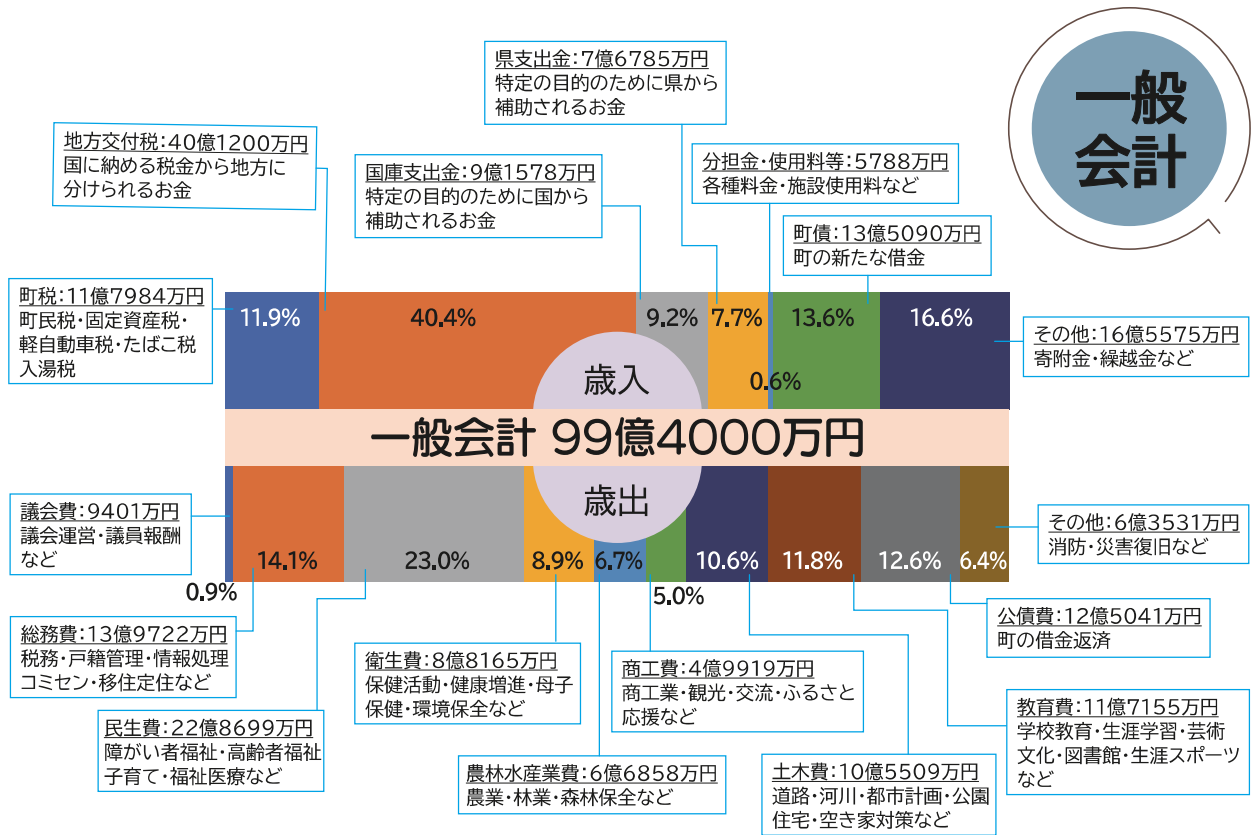
町長 無蓋貯水槽が103基ある。それを全て有蓋に切り替えることは、到底難しいため、消火栓ということも念頭に置きながら改修を図っていきたい。

予算特別委員会質疑

予算特別委員会とは

当局から提案された予算が、有効に使われようとしているか審査を行います。一般会計のほか、四つの特別会計と三つの公営企業会計があります。

3月11日と12日の2日間にわたり、令和7年度当初予算について審査しました。



【**当局**】 歳入や義務的経費の状況、事業の重要度を踏まえ、財政計画を策定し中期的な見通しを立て、将来を見据えた財政運営を心がけている。

【**横山委員**】 町債が前年比3割増だが、財政への影響は。

町債増の影響

【**横山委員**】 入湯税が減少する要因は。 【**当局**】 令和6年度の宿泊客が減少したことにより、6年度当初予算額の約81%で積算した。

入湯税減少の要因

歳入 [町の収入]

臨時財政対策債

【**丸川委員**】 臨時財政対策債が計上されていない。どのような背景があるのか。

【**当局**】 国における令和7年度の地方財政対策の中で、地方交付税の原資となる国税の伸びがあった。これを受けて、財源不足額が大きく減少し、地方財政の健全化を進める観点から、交付税の特別会計の繰入れ等により対応されたため。



歳出
〔町の支出〕

総務費

まちづくり複合施設
の木部壁面塗装実施

〔金田委員〕本施設の木部壁面塗装工事は、建設当時、想定されていたか。

〔当局〕建設当時から想定していた。木部壁面は6年程度、屋根の塗装は12年程度のスパンで見込んでいます。

〔竹田委員〕工事の時期や、工事中の町民への影響はどの程度を想定しているか。

る。工期は約4か月程度を見込んでおり、梅雨明けぐらいの施工を検討している。



千代田クリーンセンター
分担金の大幅増加

〔金田委員〕前年から大幅に分担金が増加しているが、どのような理由からか。

〔当局〕令和6年から焼却施設維持工事や発電機維持補修工事などを行っている。このため、工事費が4億5000万円増加しており、構成市町の負担金が増額になっている。

ブランディング事業
を行う問題意識

〔笹原委員〕女性・子育て世代・若者のくらしとシゴトブランディング事業はどのような問題意識を持って取り組むのか。

〔当局〕第6次総合計画後期計画の重点プロジェクトとして取り組むもの。プラスな面として、子育て施策の成果が表れていることや、マイナスイメージとして、若者層の転出が続いていることと認識している。



子どもの声が増えたらいいな

〔丸川委員〕具体的な調査内容と、それを踏まえた事業内容はどのようなものか。

〔当局〕0〜4歳児の転入増加が実現しており、アンケート等で深掘りをし、見いだした強みをしっかりとブランディングしていきたい。また、若者の転出抑制のため、イメージアップに取り組む企業をモデルケースにして、女性や若者を選ばれる環境をつくっていききたい。

都市部の企業人材
の活用

〔笹原委員〕地域活性化企業人活用事業。事業内容と、どのような成果が期待されるのか。

〔当局〕都市部の方々のさまざまな能力や技術を本町に還元してもらい、お手伝いをいただく。本町の人材不足の一助になることを期待している。

〔佐々木委員〕地域の活性化として、具体的にはどのような事を行っていたか。

〔当局〕具体的な業務については現在調整中だが、本町の事業者に聞き取りを行ったところ、IT関連などデジタル部門の人材が求められている。

自動車学校の学生
とのつながり

〔笹原委員〕長井市と飯豊町との連携とのことだが、本町とつながりをもってもらえるような工夫は何か。

〔当局〕自動車学校に通う都市部の学生の空き時間を活用し、各市町でさまざまな体験をしていただく。人と人とのつながりで本町に魅力を感じてもらおう。

〔佐々木委員〕本町ではどのような体験を通して、都市部の学生とのつながりを期待しているのか。

〔当局〕目的は関係人口の構築。農業が盛んな本町でも担い手不足が大きな課題であり、農業体験などで、継続的に本町の農業に関わっていただければと期待している。

公共施設利用のオンライン予約



オンライン予約で便利に

佐々木委員 オンラインでの予約を可能にするとのことだが、経費の内訳と、対象となる施設は何か。
当局 「LINE」での予約と考えているが、予約システムを別に構築するための経費となる。令和7年度は2つの体育施設に導入し、利用者の声を聞きながら、順次、対象を広げていく。

マイナンバーカード事業

衣袋委員 マイナンバーカードの申請と交付状況はどうか。
当局 令和7年2月末現在で、申請は1万1421件で申請率は91・3%、交付は1万1222枚で交付率89・7%となっている。
衣袋委員 申請していない方へどのようにアプローチしていくのか。
当局 町報による周知のほか、役場に出向くことが困難な方への対応として個人宅への出張申請のサポート業務を実施している。また、令和7年度も引き続き毎月第4土曜日を開庁し、申請交付業務を実施する予定である。

民生費
民生児童委員の担い手

竹田委員 今年度改選期だが、成り手の状況はどうか。
当局 担い手不足は課題。企業への理解促進のほか、活動の負担軽減をしつつ、必要な活動が実施できるような体制を考えていく。
通所型介護予防「通いの場」移動支援
横山委員 「通いの場」への移動支援事業について、内容拡充等はあるか。
当局 令和7年度からは町全域を移動支援エリアとして運用し、年齢・体力それぞれのニーズに応じて参加できる環境をつくっていく。



元気が一番

衛生費

帯状疱疹ワクチン接種
笹原委員 65歳が対象だが、個別に周知するのか。
当局 対象者には個別文書で知らせる。

5歳児健康診査

横山委員 新たに始める背景は。
当局 小学校入学を前に、子どもたちの成長を確認するために実施するもの。不安や課題などがあれば、必要な相談や支援につなげていきたいと考えている。

農林水産業費
地域計画の実現と農業機械導入支援

金田委員 具体的な事業効果及び生産額向上につながるか。
当局 農地の集積を進め、事業実施者の農業所得の向上、さらには地域農業の強化が図られると考えている。
金田委員 地域計画を作った地域の方々に対し、事業申請された農業者を応援していくメッセージを発信してはどうか。
当局 地域の方々などと情報を共有し、更に地域計画を磨き上げていく取り組みをしていきたいと考えている。



6次産業化拠点施設

笹原委員 地元農業者や住民への説明の機会をどう考えているか。
当局 利用料など詳細が決まった後に町報などで知らせる。地元でも要望があれば説明していく。

放任果樹の伐採支援

丸川委員 条件に値するもので、令和6年度の申請数と執行数は。
当局 区長を通じて要望を案内させていただいた。申請数は56本で執行数は10本である。

笹原委員 申請が多かつた実態があるが、どのくらい拡充になるのか。
当局 令和7年度については、一本当たりの伐採の上限が2万円となり、想定した伐採本数は50本を予定している。



クマが来る前に切ります

森林保険加入状況

丸川委員 森林保全事業について、本町の森林保険加入状況はどうなっているか。
当局 森林整備センターや、「やまがた森林と緑の推進機構」の森林については加入しているが、財産区や私有林の加入は確認されていない。

丸川委員 財産区への保険の加入について進めていくのか。
当局 伐採と植林が進んでいる状況なので、森林事業者はもちろん、町からも加入を促していきたい。

商工費

新産業用地造成計画

丸川委員 整備基本計画等の策定の時期をどのように見込んでいるのか。
当局 整備基本計画に加え、農村産業法に基づく計画も立てる必要がある。大変ボリュームの大きい計画になっていることから、年度末くらいになると見込んでいる。

人材確保対策事業

横山委員 町は専門家派遣などさまざまな企業支援事業を行っている。新たな支援を始める目的は。
当局 これまで社内研修や製造業への技能習得などを支援してきた。今後は幅広い業種を対象に、リスキリング（職業能力の再教育など）を通じた労働生産性向上につながる取り組みを促進したい。

地域循環型白鷹ウエルネスツーリズム推進事業

横山委員 さまざまな観光プログラムがある。観光事業の連携をどう進めるのか。
当局 新たな観光資源をつくるのではなく、これまでの観光資源を磨き上げていくための縦串、横串となる連携を「ウエルネスツーリズム」というキーワードのもとで進め、観光資源のさらなる魅力化や稼ぐ力などにつなげたい。

当局 これまで社内研修や製造業への技能習得などを支援してきた。今後は幅広い業種を対象に、リスキリング（職業能力の再教育など）を通じた労働生産性向上につながる取り組みを促進したい。



土木費

空き家等の解体補助金を増額

佐々木委員 空き家等の解体補助金を増額する理由は何か。
当局 近年の工事費や資材費の高騰、アスベスト検査費用の加算などで、解体をためらう事例が見られる。物価上昇分を加味し、上限を50万円から60万円に増額したい。

住宅セーフティネット事業

笹原委員 対象者となる「住宅確保要配慮者」とはどういう人を想定しているか。補助は申し込み順になるのか。
当局 低所得者、子育て世帯、新婚世帯、多子世帯など（それぞれに収入要件あり）で、先着順の選定となる。





事故のない348号を目指して



国道348号の再整備実現に向けて

金田委員 現在ある期成同盟会との関わり方は。

当局 白鷹町は、期成同盟会の副会長で事務局でもある。会長である山形市長などのご理解をいただきながら取り組んでいる。

佐々木委員 再整備構

想案を本町が策定すること、県からの理解や、連携は得られているか。

当局 県の部長・次長と連携しながら、期成同盟会の中の一自治体として取り組み、案を作っていくきたいということを申し上げている。

橋梁維持費

衣袋委員 橋梁長寿命化工事の設計委託料の内訳は。

当局 令和6年度に行う予定の橋梁点検のうち10橋を令和7年度に実施する。加えて新たに白山橋の撤去設計と、貝生橋の詳細設計を行うため計上した。



町民のために日々訓練

消防費

消防団を支える地域の負担軽減への

金田委員 地域づくり推進交付金に「地域防災対応分」を新設し、地域の負担軽減を図るとあるが、課題はないか。

当局 地域と消防のつながりが希薄になることを心配されている声もある。

丸川委員 交付金の分配の流れと、分配額の算定はどのようになるのか。

当局 流れについては、自治振興会等の地区に一旦交付させていただき、そこから地域の後援会等に交付していただく。また分配額は、これまで地元からご支援をいただいている金額を下まわらない金額としたい。

佐々木委員 各地区で整備している、消火栓のホースや格納庫の更新などにも活用できるのか。

当局 消防団活動を支える地域に対して支援するものであるため、地区による消火栓周辺の備品整備等への活用は想定していない。

教育費

スキー場、リフトと券売機の改修

【佐々木委員】 ペアリフト改修の状況と通常点検の頻度、また券売機の更新理由は。

【当局】 主原動機周りの分解整備とワイヤーロープ類の更新を考慮しており、点検は月に一度と、シーズンの初めと終わりに行っている。券売機は長年の使用で新札にも対応できないため更新したい。

学校給食調理場の酷暑対策

【佐々木委員】 給食保管場所に冷却設備を設置することのだが、施設他の区域は、酷暑対策は対応済みか。
【当局】 近年の酷暑から保健所の指導により、給食保管場所に真空冷却器などを設置する。合わせて、食材の納入

場所と研修室にも空調設備を設置したい。



タブレット更新時期

【竹田委員】 令和7年度未更新だが、台数も相当であり、更新の方針はどうか。

【当局】 購入台数は計965台を現在予定している。山形県GIGAスクール構想推進協議会による、県内市町村の共同調達での更新を予定している。

特別会計

介護保険

ヘルパー事業のニーズへの対応

【竹田委員】 令和6年度、町社協がヘルパー事業から撤退した。現状や今後新たなニーズへはどうか対応していくのか。
【当局】 関係事業所などの尽力により、需要と供給は保たれているものと認識している。

新たに申請があった場合、これまでどおりケアマネジャーより調整していただき、サービス提供ができると思う。必要な場合は、町から情報を提供し、安心してサービスが利用できるよう対応していく。

公営企業会計

水道事業会計

耐震化に向けて

【竹田委員】 能登半島地震を受け、国より耐震化の緊急点検及び令和6年度中に上下水道耐震化計画を策定するよう指示があったが、対応はどうか。

【当局】 調査の結果、重要施設に接続する水道管路の耐震適合率が白鷹町24%、全国平均38%、同規模事業体の全国平均は23%となっている。今年1月に策定した計画は、町立病院までのルートを最優先とし、令和7年度から16年度までの10年間で耐震化を図る内容としている。



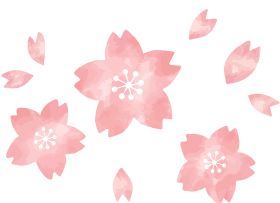
急げ耐震化

下水道事業会計

収益的収支の予算編成

【丸川委員】 収益的収入及び支出において、赤字の予算編成となっている。こうした現況を経営戦略改定でどのように検討されていくのか。

【当局】 赤字という形で計上したが、内部留保資金で対応するので、資金が不足するということはない。経営戦略では新たな10年間を描いていく取り組みなので、経営審議会で十分議論し、ご意見をいただきながら改定案の策定を進めていきたい。



下水道管老朽化対策

笹原委員 老朽化した下水道管陥没事故が多発している。白鷹町の対策は。

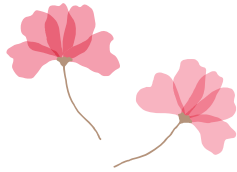
当局 日常点検の重要さを実感している。陥没に限らず、詰まり、漏水、悪臭などが想定される。合理的な巡視点検、調査の計画を立てながら進めていく。

病院事業会計

医療機器の更新

金田委員 高額な医療機器の更新計画があると思うが、この計画に沿った予算となっているのか。

当局 現在の経営状況から、投資額は考慮する必要があるため、さまざまな角度から、優先位に基づき予算化をしている。



令和7年度一般会計予算

賛成討論

未来につながる
施策に期待する



竹田 雅彦 議員

施策の柱の「人づくり」では、新たに、5歳児対象の健康診査を実施する。安心して出産、子育てができる環境が充実するものと期待する。

中学校への電子黒板の導入、各小学校のトイレ洋式化、中学校グラウンドの排水対策など、児童生徒を取り巻く教育環境が充実する。効果的な環境整備の推進を今後も図っていただきたい。

有害鳥獣処理施設整備に向け地域や関係機関等と連携を図り、具体的な検討を進めていただくことを望む。

新産業団地造成にかかる整備基本計画の策定に取り組まれる。雇用の創出につながることを望む。

つながるよう期待する。国道348号の再整備に向け、構想案を策定し、一歩でも二歩でも前に進むよう期待する。

施策の柱の「定住化」では、総合相談窓口の設置による積極的なPRで、移住者確保につながるよう期待する。

反対討論はありませんでした。

賛成討論



☆☆☆ 祝 自治功労者表彰 ☆☆☆

令和7年2月12日、置賜地方町村議会議長会定期総会において、自治功労者表彰が行われました。
白鷹町議会から「議員在職17年以上」で菅原隆男議長が表彰されました。

一般会計補正予算の主な内容

財産管理費（修繕料、委託料ほか）
441万円

通話録音装置の導入等への対応

防火水槽新設事業費 ▲3000万円
事業実績見込等に基づく調整

橋梁安全対策事業 ▲2630万円
事業実績見込等に基づく調整

財政管理費（積立金） 2567万円
減債基金元金積立等への対応

財政調整基金費（積立金） 3567万円
財政調整基金元金積立等への対応

病院経営安定緊急対策事業
2億1000万円
人口減少、物価高の影響を受ける町立病院の
経営安定に向けた緊急支援

担い手確保・経営強化支援事業
732万円
担い手が導入する農業用機械に対する支援への
対応

白鷹人育成事業 5100万円
次年度以降の計画的活用のための基金積立への
対応

など、2億1349万円を補正し、
一般会計総額は106億5200万円となった。

◎財源は、国・県支出金、寄附金、繰越金、
諸収入、町債などで対応。

※万円未満は端数調整

補正予算の 主な質疑

質疑

通話録音装置の導入
〔横山委員〕財産管理費の通話録音装置の導入はどのような取り組みか
〔総務課長〕行政サービスの質の向上や、犯罪の防止、職員への不当要求行為等の排除を図ることを目的に、まちづくり複合施設の電話システムに録音機能を導入するもの。

事業費減額の理由
〔丸川委員〕防火水槽が整備に至らなかった理由は。
〔総務課長〕7月に発生した庄内最上地域の豪雨災害の早期復旧を最優先するよう、県から建設業等の業界に依頼があった。そのため年度内の工事完了が難しいと判断した。

衣袋委員 橋梁安全対策事業が減額になっている。箇所と理由は。
〔建設課長〕道路局の補助金が計画していた3割の内示がなく、橋梁点検が36橋から26橋へ、設計委託が2本から1本へ減になっている。



橋の安全を守ります

表紙

元気いっぱい
夢いっぱい

白鷹中学校 入学式

待ちわびた春の訪れを謳歌するように、あちらこちらに花々が咲き始めてきました。小さな可愛い蕾のようだった子どもたちも、咲き誇る花のように凛とした表情で新学期を迎えました。

4月7日、町内小学校では74人、中学校では111人の児童・生徒が、夢と希望を背負い、元気に入学式に臨みました。

年を追うごとに、少なくなる子どもたちに寂しさを感じますが、町民一丸で子どもたちの未来を創っていきま



白鷹町名誉町民の推挙

氏名 佐藤文隆氏（京都大学名誉教授）

住所 京都府京都市（鮎貝出身）

※ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹氏の影響を受け物理学の道を志し、県立長井高等学校から京都大学へと進学。昭和48年にブラックホールの解明につながるアインシュタイン方程式における「トミマツ・サトウ解」を発見し、その優れた業績により世界的に高い評価を得た。平成11年に紫綬褒章、平成25年に瑞宝中綬章をそれぞれ受章。

条例

●白鷹町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定

国の給与制度等に準拠し、職員の給与表等について改定するほか、刑法の一部改正に伴い文言を整理するなど、関係条例について所要の整備を行う。

●白鷹町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事院規則に準拠し、子の看護休暇の取得要件を緩和するなど、所要の整備を行う。

●白鷹町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い所要の整備を行う。

●白鷹町消防団条例の一部を改正する条例の制定

消防団員の確保を目的とし、団員の任用資格を緩和するなど、所要の整備を行う。

ほか2件

町道認定・廃止（菖蒲地内）

1. 認定する路線

- ・陽の里菖蒲線 609.0メートル
- ・菖蒲緑の里線 587.7メートル

2. 廃止する路線

- ・陽の里菖蒲線 625.1メートル
- ・菖蒲緑の里線 603.7メートル

※一般国道287号道路改良工事により、町道の路線を認定及び廃止するもの。

人事

●白鷹町教育委員会教育長

迎田 浩昭氏（新任：荒砥）
前任者の任期が満了するため、その後任者を任命するもの。



●白鷹町教育委員会委員

船山 泉氏（新任：畔藤）
前任者が辞職することに伴い、その後任者を任命するもの。



請願審査

採 択

●「国による学校給食の無償化を求める意見書」の提出を求める請願

請 願 者 学校給食の無償化をめざす
山形県民の会
代表委員 高木 紘一
紹介議員 佐々木 誠司
付託委員会 総務厚生常任委員会
審査結果 採択すべきもの

全員賛成により採択、意見書を提出



録画を配信

荒砥高校への支援の成果をどう捉える

教育長 入学者の確保、町内企業への就職につながっている



よこやま かずひろ
横山和浩 議員

支援の成果は

問 荒砥高校の存続と発展を目指し、町ではさまざまな支援に取り組んでいる。成果や評価は。

教育長 魅力化計画に基づき支援を展開し、入学者数確保につながっていると考える。（表1参照）

習熟度別に少人数指導を行い基礎学力の底上げが図られており、さらには町独自で4人の学習支援員を配置し学力に応じた学習指導等を支えていることから、生徒には着実に学力と自信がついていると考える。

情報発信

問 町の支援について情報発信は。

教育長 高校魅力化コーナーディネーターを配置している。

高校公式サイトで学



各種取り組みは卒業後の町内企業就職にもつながっていると認識している。（表2参照）

学校と地域の連携

問 地域との交流を深める場づくりは。

教育次長 地域資源を活用した教育活動を行っており、企業訪問後も商工会や訪問企業の方々とも交流を深めている。今後も学校との協議を通じて支援策を検討したい。

ボランティア推進

問 荒砥高校ではボランティア活動で単位取得できるが、サークルや取りまとめる組織がない。支援体制は。

教育次長 教育委員会等に情報交換できる場がある。意向を確認し、状況を参考に、町としてできる支援があるか検討したい。

健康福祉課長 社会福祉協議会内のボランティアセンターで相談などを行っており、引き続き窓口となり調整等を行うと聞いている。

問 今後の支援策は。

町長 生徒数減少という厳しい現状があり荒砥高校の魅力化は急務。学校の存続に向けて支援を続けていくことが重要である。現在の支援策に加え、新たな視点での施策も模索したい。

私もひとこと

きめ細やかな支援を継続してほしい。良い税金の使い方だと思う。（50代男性）

表1 志願者数（令和3年度～令和7年度）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
人数	27	17	40	24	37

表2 卒業生の進路（令和3年度～令和6年度）

卒業生 93人	進学43人		46%
	就職 50人	町内21人	23%
町外29人			

除雪稼働補償料前払いの検討は

町長 我が町に合う方法を選択していく



録画を配信



たけだ まさひこ
竹田雅彦 議員

克雪対策

補償料前払いの検討

問 今年は大雪となったが、ここ数年は少雪。除雪体制維持のため、除雪稼働補償料を前払いできる制度を検討できないか。

町長 今は気象変動が激しく雪が降る年もある。我が町に合う方法を選択していく必要があると認識しているが、事業者から理解を得た上で契約を結ばせていただいている。

オペレーターの確保

人材確保のため、冬期間のマルチワークの一つの仕事にならないか。

企画政策課長 組合員になっていただき、要望があれば派遣は可能。本人と業者の意向を調整し、計画的な活用を図ることが大切。

問 支援できる業者等が少ない。ボランティアも含め、業者の確保をどうしていくのか。

町長 業者にお願ひするしかないが、若い人が少ない。広域的な見地から応援をいただく

時期に来ていいると思っ
ている。



融雪設備支援

軒先融雪やロードヒーティング等で雪下ろし軽減できないか。町にも支援事業があるが増額できないか。

町長 電気代や物価が高騰しており、そういう状況下ではない。地域の課題を捉え、どうすれば安心した生活が続けられるかを念頭に置き、対応させていた

だ。

住まい対策

子育て支援・若者定住促進住宅整備

問 新たな整備の現在の進捗状況はどうか。

建設課長 神明アパート北側の用地取得がようやくできた。

住宅手当等支援

支援住宅等の整備にはもう少し時間がかかる。その間、移住してきた子育て世代への住宅手当的な支援も必要ではないか。

企画政策課長 しらたか若者移住支援金や移住支援交付金制度があり、家賃や引っ越し費用に利用いただいている。

問 地域おこし協力隊の退任後やマルチワーカーへの住宅支援など、町に留まっていたための継続した支援も必要ではないか。

町長 補助金等の交付

競争になっては、まちづくりの視点が違ってくると思う。できる範囲でお互いに頑張るしかない。公平平等を念頭に置き、慎重に対応していきたい。

町内企業への支援

問 社員に住宅手当を支給している町内の企業に、何らかの支援ができないか。

町長 労働力が不足している時代であり、各企業で住まいの準備は努力されているが、町が何かを支援する状況には至っていない。必要性が高まり、環境を整えればやってくる必要があるだろうと思う。

私もひとこと

5年先10年先を見据えて取り組んでほしい。
(40代男性)

総務厚生常任委員会 3月6日

進む部活動の地域移行

中学校部活動の地域移行について説明を受けた。

〔令和6年度実証事業の結果〕

柔道、剣道、サッカー、水泳は、休日の試行運用を各16回実施。試行期間は8月末～12月末の4か月間。

〔成果と課題〕

○成果
実証事業は4種目を実施できた。教員の時間外在校時間が、月平均20時間減少。
○課題・意見
顧問、指導者、保護者間での連絡に戸惑いがあった。スクールバス利用の強い要望があった。

〔令和7年度の事業展開〕

○実証事業を実施した4種目は、4月下旬～12月末の約8か月試行運用を実施。

質疑

指導者の負担感

〔委員〕指導者から負担感等の声はあったか。
〔当局〕大会参加申し込み生徒指導の部分で不安の声があった。

受益者負担

〔委員〕受益者の負担はあったか。
〔当局〕令和6年度はなかった。

○新規種目として、バレー、ソフトテニス、卓球、野球、吹奏楽の5種目の地域移行を目指し、8月下旬からの試行運用を目指す。
○活動に必要な用品代やスクールバスの利用を支援する。



〔委員〕7年度はどうか。
〔当局〕負担なしと考えられている。ただ保護者から、今後月額1～3千円程度が妥当との声があり、検討していく。

利便性の高い施設を目指して

第2期健康と福祉の里構想について説明を受けた。

質疑

利用しやすい施設

〔委員〕運動機材導入の説明を。

〔当局〕器具も設置し、さまざまな方が利用しやすい施設にしたい。スマホ運動のポイント制も検討中。

利用料金

〔委員〕各貸出し部屋の利用料金の想定は。
〔当局〕利用しやすい料金を検討中。コミセンなども参考にしたい。

健康福祉センターを改修し、子育て・健康づくり・多世代交流の機能を持つ複合的な拠点施設、デジタル活用を推進する施設として整備を進めてきた。今後は必要な工事を追加し、施設の供用開始に向け準備を進める。

〔管理及び運営〕指定管理（5年間）

〔指定管理者選定方法〕公募による

〔指定管理者の業務〕施設の管理維持、施設の運営、自主事業等

〔開館時間等〕（予定）

○午前9時～午後9時
○休館日は月・火曜日
年末年始

〔スケジュール〕（予定）

10月供用開始



健康のため利用しましょう

その他
○白鷹中学校体育館等
改修について（現地調査）、など
説明があった。

新たな観光産業に期待する

白鷹町観光交流推進計画の策定について説明を受けた。

【計画策定の趣旨】

アフターコロナの観光業においては、大型バスでの団体旅行からマイカーを利用しての個人旅行に主流が変わるといった、旅行マインドの変化が見られることから、観光行政の在り方や計画の方向性を見直す必要が生じている。

このような社会情勢の変化を捉え、白鷹町の豊かな自然と長年にわたり育まれてきた豊富な観光資源を活かし、白鷹ならではの魅力を磨き上げ、更なる観光の振興、交流人口の拡大を図るため、白鷹町観光交流推進計画の策定を行う。

【計画期間】

令和7年度から令和11年度まで（5年間）

質疑

観光の情報発信

委員 観光情報を一元化したプラットフォームの整備について、専門的な知識が必要になると思うが、外部委託を行うのか。

当局 情報発信は重要なポイント。情報一元化については、できるところから取り組んでいく。シーズン毎に一元化に取り組み、最終的にまとまったものにしていきたい。
委員 観光資源に関する調査や実証実験などは行うのか。



日本一の紅もち

当局 ウェルネスツーリズムを推進していく中で、どのような方がどのようなコンテンツを求めているかなど、市場調査を行ったうえで、効果的な情報発信に取り組んでいきたい。

【改定の目的】

平成29年度に策定した「白鷹町水道事業経営戦略」の策定から、6年が経過し、物価の高騰や人件費の上昇などの社会情勢の変化により厳しい経営環境となっている。

今後、施設や設備の更新期に入ることや、耐震化への対応、料金回収率の低下による経営の改善・健全化など、多岐にわたる課題を踏まえて、経営基盤の強化に向けた経営戦略の改定を行う。

【基本方針】

将来にわたって、安心・安全な水を安定して供給していくことは水道事業の使命であり、

水道事業経営戦略を改定

白鷹町水道事業経営戦略の改定（案）について説明を受けた。

町民生活や産業活動に欠くことのできないライフラインであることを再認識し、水源保全や水質管理、施設等の老朽化や耐震化への対策、人口減少による施設等の縮小化に取り組み、持続可能な経営基盤の確立を目指す。

また、近年激甚化・頻発化している災害対策の充実・強化を図る。

質疑

漏水対策

委員 漏水対策が今後重要だと思うが、DXの導入などはあるか。
当局 AIや人工衛星などを使った最新技術の導入について、関心を持って情報収集して



施設の耐震化も急げ

いる。人工衛星を活用した取り組みは、県内で、山形市、天童市、寒河江市等で行われており、その結果、調査期間が短くなったが、精度が1割から4割程度という状況であるため、引き続き情報収集に努めていきたい。

その他
○白鷹町住生活基本計画の策定について
○町道路線の認定及び廃止について（現地調査）説明があった。

ふるさと森林公園再整備特別委員会 3月14日

眺望を重視した計画に

白鷹町ふるさと森林公園再整備の取り組み状況について説明を受けた。

【全体配置計画】

○動線計画

- ・バリアフリーのエントランス等
- ・大型バス対応車寄せ
- ウエルネス棟

・最上川の眺望を楽しめる露天風呂やラウンジ等

- ウエルネスガーデン
- ・既存浴室棟解体後、雄大な景色を楽しめる広場へ整備等

質疑

景観維持

【委員】ウエルネス棟を最上川の見える位置にすることのだが、松林が成長した際の対応は。は。

【当局】松林が成長した際、時期や対応は今後検討していく。



総務厚生常任委員協議会 2月21日

町立病院の経営基盤強化にむけて

町立病院の経営状況等について（12月末現在）説明を受けた

【患者数、医業収益等の状況】

コロナ禍以前の令和元年度比で約4千人、約10%の減少。医業収益は3400万円の減収。発熱外来や感染者の個室入院等は継続しており、経費の増加や入院の減収要因となっている。

【経営改善の取り組み】

女性医師の消化器外来を開始し、人間ドックやレディース検診等を積極的に展開している。住民健診の一部実施も検討を進めている。

【経営基盤強化】

一般会計から経営支援2億1千万円を3月補正予算において見込むもの。

【今後の見通し】

地域密着型医療を維持し、経営強化プランに基づき経営の安定を目指す。

質疑

機材の更新は

【委員】減価償却費が随分減っている。機材の更新ができていないのか。

【当局】減価償却は、建物は毎年一定額、その他は医療機械が多い。医療機械の中には、耐用年数が過ぎたものもあるが、提供する医療サービスには影響が出ないようしっかりと保守やメンテナンスをすることで使える間は長く使っていきたい。



メンテナンスが大事

= 議会だよりアンケートの結果 =

皆さまからいただいた貴重なご意見やご感想を基に、
今後も議会を身近に感じていただける紙面づくりに努
めてまいります。



- ◆回答数：24
- ◆性別：男…10 女…10 無回答…4
- ◆年齢：10代～30代… 0 40代… 1 50代… 0 60代… 4
70代…11 80代以上… 6 無回答…2

※アンケートは「議会だより No.165(1月17日発行)」に同封。回答数は前年比△10通。

質 問

* 毎号見ていただいていますか

- 1 見ている…………… 19
- 2 時々見ている…………… 5
- 3 見ていない…………… 0

* 見やすい・読みやすいと思う紙面は

(複数回答可)

- 1 写真や色使いが良い…………… 14
- 2 見出しで内容がわかる…………… 13
- 3 文章がわかりやすい…………… 3
- 4 議会のことがわかる…………… 4
- 5 その他…………… 0

* 見にくい・読みにくいと思う紙面は

(複数回答可)

- 1 言葉が専門的…………… 8
 - 2 色が多く目が疲れる…………… 5
 - 3 文章が長い、わかりづらい…………… 5
 - 4 内容が面白くない…………… 3
 - 5 その他…………… 0
- その他の項目へのご記入は有りませんでした

ご意見から

- * 早めに人口減少対策を考えていくべき。(80代)
- * 不祥事や、事故が続き、議会の追及・要望があまりにも物足りない。しっかりしろ!(60代)
- * 町立病院の早朝の順番取りは、具合の悪い中待つのはきついと思う。デジタル活用推進の予算を。(70代)
- * 「追跡レポート」が、分かりやすくまとめられている。末尾の「まとめ」は、職員も熟読で～す!(70代)
- * 各地区コミュニティセンターの追跡レポートをしてほしい。(70代)
- * 「閉会中の動き」を今後も取り上げてください。(80代)
- * 同じ議員の質疑しか掲載されない。(70代)

できるだけ原文のまま掲載していますが、紙面の都合上、全文を掲載できないご意見は、要約させていただきました。

- * 委員会及び一般質問で、質疑～答弁が記載されており、それらが実効あるものになることが重要。(80代)
- * 町のことを意外に知らないんだと感じさせられます。これからも情報を発信して下さい。(60代)
- * きちんとまとめられていて要点がわかりやすく、読みやすい。(70代)
- * 町報もですが、10字程度の縦書きがとても見づらい。横書きの「追跡レポート」の方が見やすかった。(年代不明)
- * 小さい字は目に入らない。肝心なところは太い字で。重要な箇所のみで具体的などは必要ない。(年代不明)
- * 毎年経費を掛け議員研修の必要が有るのか。(年代不明)

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会議中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会議だよりのご意見・ご感想などを議会議事務局までお寄せください。

「ふだふだ市」に来てください！



実行委員の皆さん

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

白鷹を盛り上げよう実行委員会

… 交流人口の拡大を目指して …

白鷹を盛り上げよう実行委員会代表の高橋愛子さんに、お話を伺いました。

活動のきっかけは何気なくファミリーマート白鷹さくらの店を訪れたことです。そこで整備された地域交流広場が目に入り、何かイベントができないものかと頭をよぎりました。私はいろんなマルシェに出店していることもあり、ここでマルシェを開催したら楽し

いのではないかと、この町が活気づくのではないかと、思い立ち、町内のママ友と立ち上げました。メンバーは4人です。

活動してよかったことは一番大きいことは、地域の方々と知り合いになれたことです。私は生まれてこのかたこの町を離れたことがなく、友人は限られていたが、マルシェ開催でたくさんの方と話ができ、知り合いが増えました。

どのような活動を「ふだふだ市」と銘打って、年3回、地域交流広場ではもちろん、のどか村等でマルシェを開催しています。

大切にしていることは出店者の方や来場者の方に、楽しく、気持ちよくその日を過ごしていただくため、相手の立場を考えながら開催しています。印象を大切にするので、リーダーとして白鷹町に興味を持っていただく方や、移住を希望する方が少しでも増えることを期待しています。

また、この活動はさまざまな方の協力があったからこそのもので、たくさんの方が応援してくださることを実感することもできました。イベントが終わった後の達成感がたまらないですね。(笑)

これからの目標はマルシェを通して、この町の人口減少の歯止めにも少しでも貢献したいです。こうしたイベントを開催することで、今の子どもたちに、「この町は楽しい町だ」、「一度町を離れても、「戻りたい」と胸を張って言



にぎわう「ふだふだ市」

わせてあげたいです。かわらだが続く限りマルシェ開催を楽しみます！

議会へひとこと

まずはマルシェに来て、雰囲気を見てください。何か見えてくるものがあるはずですよ。ぜひ一緒にこの町を盛り上げていきましょう。

取材を終えて

自分たちの趣味を生かして、町を盛り上げようとする意気込みに感動しました。多くの白鷹ファン獲得に繋がることが期待します。(丸川)

編集後記

第6次総合計画後期基本計画とともに新年度がスタートしました。それに伴うさまざまな環境の変化が、春の訪れの喜びと相まって、気持ちを一新させてくれます。

各会計における新年度当初予算が可決されました。一般会計においては、過去2番目となる大型編成となり、後期基本計画に掲げる町の将来像の実現を目指す意気込みが感じられます。町民の皆様も、この先の進捗状況を注視していきましょう。乾燥する季節です。山菜採りなどで入山する際はどうか火の取り扱いにご注意ください。(丸川)

広報委員

委員長 丸川 雅 春
副委員長・編集長 佐々木 誠 司
委員 金 田 悟
委員 竹 田 雅 彦
委員 衣 袋 正 人
印刷・術 梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/

